

Ubuntu18.04 で Hibernate を有効に (続)

Ubuntu18.04 で Hibernate を有効にしてたけど、サスペンド ハイバネーションっていうのを設定できてなかった。

なので、サスペンドした後、そのまま放置していると気づいたら電池がなくなっているということもあって悲しい思いを。

で、ちょっと調べてみたら、

AskUbuntu に How to go automatically from Suspend into Hibernate? という 8 年前のスレッドがあって、

さらに、Ubuntu18.04 だと、簡単に解決する方法があがってた。

とりあえず、HibernateDelaySec=60 とかして動くことが確認できたので、しばらく使ってみる。

やりかた

/etc/systemd/sleep.conf を作成して、 の内容を書く

```
[Sleep]
HibernateDelaySec=3600
```

動作確認は、

```
sudo systemctl suspend-then-hibernate
```

とすると、サスペンドした後、指定秒 (上の例だと 3600 秒 =1 時間後) まって、ハイバネートする。

蓋しめたときにサスペンド ハイバネーション、としたければ、/etc/systemd/logind.conf の、HandleLidSwitch= っていう行を探して、

```
HandleLidSwitch=suspend-then-hibernate
```

と変更したあと、

```
sudo systemctl restart systemd-logind.service
```

で、systemd-logind service を再起動する。

(セッションが再起動する、と書かれていたけど、特になにもなかった)

これで蓋を閉じると、サスペンドして、しばらく (3600 秒) 待つとハイバネートするようになった。